

れんげじ ごひゃくらかん  
蓮花寺 五百羅漢

所在地：洲本市 安乎



蓮華寺 境内 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

蓮花寺は、淡路四国八十八ヶ所霊場第七十四番にも数えられる、真言宗の古刹です。鎌倉末期、後宇多天皇崩御の際にその菩提を弔って全国を行脚していた禅定律師が元弘2年（1332）に建立したもので、寺名も後宇多天皇ゆかりの京都・蓮花峰寺より名付けたと言われてしています。

蓮花寺の代名詞ともなっている五百羅漢は、中興の祖 実如上人が在家に寄進を呼びかけて、十六羅漢を安置したのが始まりで、その後は四世実栄上人の四代に渡り66年の歳月を経て安置され、その総数は約530体にも及びます。一体一表情が違うこの羅漢様の中から、今は亡き身内縁者に似た羅漢様を見だし語りかける事ができるといわれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、県道66号線を南下、県道468号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図